



て ま り

7
月号

Technical Educational Mental Artistic & Refreshing Information

『 就任のご挨拶 』

放送大学和歌山学習センター 所長 林 修

令和8年4月から所長に就任しました、林修と申します。

一昨年度までは、和歌山大学教育学部に勤務していました。専門分野は体育科教育学です。私は、大学卒業後すぐに小学校教諭になり、その後、教育委員会や大学で教員研修、養成に携わってきました。今回、現職の任をいただいたことで、初めて生涯教育へと携わらせていただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。

生涯教育のルーツは、1960年代、ポール・ラングランが提唱した生涯学習、生涯教育の理念にあります。そこでは、「教育」が人生の特定の期間に限られるのではなく、生涯を通じて継続されるべきであるという理念が強調されていました。その後、こうした考え方が世界中の教育政策や生涯学習の推進に大きな影響を与えました。

さて、放送大学ですが、英語では「The Open University of Japan」と表記されています。つまり「ひらかれた」大学。

ここで「ひらかれた」という意味を考えてみたいと思います。

まずは、地域に開かれた環境の中にあるという意味で「ひらかれた」。

次に入学者の年齢、性別、居住地、職業、経験など、あらゆる垣根を超えて学び続けることができるという意味で「ひらかれた」。

これらに加えて、「ひらく」には「拓く」という意味も含まれています。つまり、元々の開墾、開拓するという意味から発展して、「新しい分野、道、可能性を切り拓く」という意味としてもつかわれます。この意味を加味しますと、放送大学とは、人生の可能性を追求し、アイデンティティ（私らしさ）を追求しつづけるという意味で「ひらかれた学びの場」といえるでしょう。

このように、多元多層に「ひらかれた学びの場」としての放送大学では、多様な領域、分野の授業を準備することが求められます。

全国に広がる学習センターが開設する面接授業科目を拝見しますと、それぞれの地域特性を生かした興味深い授業が準備されています。

和歌山学習センターにおきましても資格や免許を取得するための専門的な分野の授業、教養教育につながるような授業、和歌山らしさを前面に押し出した授業等を準備させていただいています。

なかでも、第1学期開講の「高野山学入門」や「和歌山（関西）の歴史的建築」、第2学期開講の「歩く百科事典—南方熊楠」や「持続可能な鉄道を考える」の授業では、現地でのフィールドワークを取り入れた面接授業を行っています。また、多様な専門性を有する講師の方々をお招きして、受講生の皆様の多様なニーズに応ずる授業も開設しています。

今後も、和歌山学習センターの充実・発展に向けて、新たな面接授業の開設をめざし、受講生の皆様の円滑な学びの場の環境を整えることができるよう、努力を続けたいと考えています。

放送大学にご興味をお持ちでしたら、いつでもお気軽に和歌山学習センターへお立ち寄りください。

ご卒業・ご修了おめでとうございます

2025年度第2学期学位記授与式が3月29日（日）和歌山学習センターで行われました。
和歌山学習センターでは教養学部22名が卒業、大学院（修士）1名が修了されました。



卒業生・修了生からのメッセージ

《学習センターが居場所になれば》

教養学部 心理と教育コース 寺田 知子 さん

この春卒業しました。その間7年半を要している。私と放送大学との出会いは行政職員を退職後、ひきこもり支援活動をしている仲間の一人として、若者達やその家族にどう寄り添えば良いのか迷っていた時です。

秋に開催された連携公開講座に参加すると、資料の中に放送大学の資料が入っていて、1教科からでも学べる、自分の都合の良い時間に学べる事が入学の決め手となった。当初は卒業を目指していた訳ではなく、自分に必要な基礎知識を学ぼうとエキスパート（心理学基礎・臨床心理学基礎）を取得、次に認定心理士取得を考え始めた。そんな時期にコロナ禍が始まり、自宅受験へ、オンライン講演会やオンライン授業の実施等大学の学習方針の変化もあった。面接授業も人数制限もあったが、私には好転機となる。他のボランティア活動等にも参加していたので、イベント廃止等の自粛規制が自宅での学習時間確保をより可能にしたのです。本部の実施するオンライン講演会では様々な分野の講師先生の貴重な講義を拝聴して、正解は一つではない、多様性を認める大切さ等、少しですが考え方に幅が出てきた感がある。

また和歌山学習センターでの面接授業はコミュカアップに最高の機会であり、講師先生・学生・事務所の皆さん等の支援のお陰で卒業できたと思う。この場をお借りしてお礼を申し上げます。66才で入学したのですが同様な入学をされる方も、経験を活かしつつの学習もきっと楽しくなる事でしょう。全学生の皆様は夫々ご自分の目標を掲げられてご自分のペースで頑張ってください。私も生活と福祉のコースに再入学して「地域共生社会の実現」に向けて何かできる事はないのか考えています。最後に学習センターが居場所の役割を果たす事ができていたらとても素敵だなあ。

教養学部 心理と教育コース 大川 起司 さん

私は生まれつき障害を患っており学校というものになじめず苦手でした。成績も良いわけではなく通信制ではない大学を入学したのが今から15年以上前のことでした。結局その学校は卒業できませんでしたが、勉強は好きだったのでその後も資格をとったりしながら社会人として過ごしてきました。それでも自分の人生に疑問を感じながら仕事を続けていました。

放送大学に入学しようと思ったのはそんな時でした。当時働いていた職場を離職して何か自分でできる事はないか、もっと勉強したいと思い入学しました。大学を卒業出来なかったことを後悔していたこともありますが、何より障害を肯定的に捉えたいというのもあったかと思えます。

この大学は学費が安く通信制で自分のペースで勉強ができコミュニケーションが苦手であった私にとってニーズに合っており、学びたい学問もあったので入学して良かったと思っています。

心理と教育コースを専攻していましたが、はじめのうちは専門科目を中心に履修していました。慣れていくうちに専攻しているコースの関係分野にも興味を持ち始め、卒業した現在も生活と福祉コースに継続入学しています。

障害という特性を今後の将来の武器や財産として、資格の取得や障害を活かせる職場につきたいというのが現在の私の目標です。そして自分なりの生きていく方角のようなものを見つけていきたいと考えています。

皆さんもいろんな思いや目的があり入学されているかと思えます。その思いをぜひ大切にいただければと思います。たとえ目的や具体的な成果に結びつかなくとも努力した分は報われると思うからです。

教養学部 心理と教育コース 永井 万智子 さん

私は和歌山学習センターをフルに活用しています。図書館での視聴やパソコンを持ち込んで調べながらの教科の勉強など。頭の中がすっきりして家でするよりは、はかどります。また、普段読まない月刊誌を手にとって読んだり、自分の居場所を確保したようなリラックスした気分になります。学生控室では昼食を摂ったり友達とおしゃべりするのも楽しいひとときです。勉強に対して前向きな方ばかりなので自分も目標を見失わないようにしています。認定心理士の資格は取得したのですが公認心理師の実験試験はハードルが高く断念しました。臨床心理士を目指して大学院受験を考えています。過去問を解き心理学の則定教授に指導して頂いています。パソコン・スマホ道場では質問を箇条書きにして満田教授に教えて頂いています。動画に音楽をつけたりして生協活動報告が完成しました。いろんな事がわかっていき楽しいです。

20数年前に娘と一緒に英検3級を受験した事を思い出して英語の授業にも挑戦しました。尾上准教授の英字新聞の読み方はとても楽しくてこれをきっかけに準2級を挑戦してみるつもりです。目標が多くて大変ですが、兎に角やってみる。失敗を恐れない。若い時と違い厚かましく行動できますから。知らないことが多すぎて生きてこれたのが恥ずかしいくらいです。

試験対策は提出課題、過去問、ネットでの15回の授業を見る事で合格します。特に心理学の統計は苦勞しました。ネットで調べたり自分なりにまとめたり、わからないことは学習相談で聞くのも一つの方法です。自分で学習してから相談してくださいね。

事務所の方も皆、親切に教えて下さいますので一人で悩まないでどんどん聞いて行動してください。3月卒業、4月再入学しました。また図書館を利用させて頂きますので宜しくお願い致します。

2026年度第2学期 面接授業のご案内

科目登録申請後の変更はできませんので、慎重に科目選択を行ってください。
 また、定員を上回る申請があった科目については、抽選による選考を行います。
 申請科目すべてが受講できるとは限りませんので、ご注意ください。和歌山学習センターで開設する面接授業科目は下記のとおりです。授業内容等は、放送大学ウェブサイトをご覧ください。

科目区分	科目名	担当講師	開設日	定員
基盤:外国語	英語物語の読解と朗読	尾上 利美	10月24日(土)・25日(日)	30
導入:情報	暮らしに役立つ地域データ入門	満田 成紀	11月7日(土)・8日(日) ★自家用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
専門:生活と福祉	現代日本の家族政策	下夷 美幸	10月17日(土)・18日(日)	30
	身体運動と生活習慣病の予防	宮井 信行	12月19日(土)・20日(日)	24
専門:心理と教育	心理学実験1	村上 凡子	10月31日(土)・11月1日(日)	30
	心理学実験2	岩原 昭彦	1月9日(土)・10日(日)	20
専門:社会と産業	持続可能な鉄道を考える	西川 一弘	12月12日(土)・13日(日) ★2日目の一部は伊太祈曽駅(和歌山市)と貴志駅(紀の川市)で実施予定	20
専門:人間と文化	博物館で学ぶきのくにの歴史	竹中 康彦	11月11日(水)・12日(木) ★2日間とも和歌山県立博物館(和歌山市)で実施予定	20
	世界遺産の庭園	小野 健吉	11月14日(土)・15日(日)	30
	アンデスの文化遺産と博物館	鶴見 英成	11月28日(土)・29日(日)	30
	鯨捕り、ジョン万次郎	櫻井 敬人	12月12日(土)・13日(日)	30
専門:情報	AIでデータを一緒に読み解こう	伊原 彰紀	10月24日(土)・25日(日) ★自家用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
専門:自然と環境	PCで太陽系外の宇宙を学ぼう	曾我 真人	12月5日(土)・6日(日)	20
総合	歩く百科事典ー南方熊楠	高垣 誠 外3名	10月17日(土)・18日(日) ★2日間とも南方熊楠記念館(西牟婁郡白浜町)で実施予定	20
	ジオパークで考える変動帯地域	此松 昌彦 外1名	12月19日(土)・20日(日)	30

「教科書」指定の有無を前もってシラバス(授業概要)で確認し、各自で書店や出版社から直接購入するなどして、授業当日に必ず持参してください。取り寄せに時間がかかる場合もありますので、ご注意ください。
 なお、和歌山学習センターでは「教科書」の販売・貸出はしていません。

和歌山の時間割	1時限	10:00~11:30	面接授業とは？	<ul style="list-style-type: none"> ●全科履修生が卒業するためには、面接授業かオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。卒業を目指している方以外は、必修ではありません。 ●1科目につき1単位です。 ●2日間で計8回の授業(90分×7回、45分×1回)を行い、原則としてレポートか試験等が課されます。
	2時限	11:40~13:10		
	昼休憩			
	3時限	14:00~15:30		
	4時限	15:40~17:10		

和歌山学習センター客員教員による 2026年度第1学期学習相談のご案内

客員教員名	専門分野	実施曜日・時間
尾上 利美 和歌山大学教育学部・准教授	英語教育	第2・4 火曜日 10:00～12:00
則定 百合子 和歌山大学教育学部・教授	臨床心理学 青年心理学	第2・4 火曜日 13:00～15:00
竹林 浩志 和歌山大学観光学部・教授	経営学 組織論	第3 水曜日 10:00～12:00
木村 憲喜 和歌山大学大学院教育学研究科・教授	化学 理科教育	毎週 水曜日 14:00～16:00
満田 成紀 和歌山大学戦略情報室・教授	ソフトウェア工学 ※1	第1・3 木曜日 10:00～12:00
森下 順子 和歌山信愛大学教育学部・教授	発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援	第2・4 木曜日 13:30～15:30
辻 あさみ 和歌山県立医科大学保健看護学部・教授	成人看護学	第1・3 土曜日 10:00～12:00
林 修 放送大学和歌山学習センター・所長	体育科教育	随時(原則として月・水を除く)

※1 ソフトウェア (Word, Excel, PowerPoint)、インターネット、Windowsなどについての質問も可

学習相談とは？

所長および客員教員が学習上の種々の相談に応じています。
相談を希望する学生は、『学習相談票』（和歌山学習センターウェブサイトに掲載もしくは事務室に備え付け）に必要事項を記入し、相談希望日1週間前までに事務室に申し込んでください。
後日、相談日を通知します。
(※『学習相談票』はFAX送信もしくはメール送信可)

予約制です!



今年度の新任客員教員よりご挨拶

辻 あさみ 先生 和歌山県立医科大学保健看護学部教授 (成人看護学)

今年度再び客員教員として学習相談を担当することになりました。専門は看護学で成人看護学を担当しております。看護師の視点から、病の有無に関わらず、健康とは何か、生活とは何かなどについて取り組んでいます。

こうして、また、皆様とともに学べる機会をいただき、とても楽しみにしております。病を予防しながらの生活の仕方や、病に罹っても、病とともに生活するにはどうしたらいいかなどについて、様々な角度から皆さんと一緒に学びたいと思っています。

よろしく申し上げます。

客員教員による『学習会』のご案内

「学習会」とは？

和歌山学習センターの客員教員が、毎回それぞれのテーマに沿って講義をします。
ぜひ、お気軽にご参加ください！
※参加費無料。事前申込み不要。単位認定はありません。



『組織における人間を考える』

経営学 組織論 竹林 浩志 先生

7月 1日 (水)
8月 5日 (水)
9月 2日 (水)
10時00分～12時00分

我々は数多くの組織と様々な形で関わりながら生きています。その組織というものと関わることで多くの喜びを手に入れるだけでなく、多くのコンフリクトをかかえたりもします。
では、その「組織」とはそもそもどのようなものなのでしょうか？
その中で活動することとはどのようなことなのでしょうか？
経営学・組織論・意思決定論などをベースに組織内における人間そのもの、および人間間の諸問題について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

『パソコン・スマホDojo』

ソフトウェア工学 満田 成紀 先生

7月11日 (土) ★
25日 (土)
8月 8日 (土) ★
22日 (土)
9月12日 (土)
10時00分～12時00分

パソコンやスマートフォンを使っていて、「もっとこんな使い方がしてみたい」と思うことはありませんか？
そんなあなたに、ちょっとしたアドバイスと一緒にチャレンジする機会を提供するのが「Dojo(道場)」です。
「写真の編集がしたい」「ビデオ通話ってどうやるの？」など、みなさん自身のやってみたいことや悩みについて、教員がメンター(お助け人)となって取り組みます。すぐにはできないかもしれませんが、ゆっくり少しずつ学んでいきましょう。
※自分のノートPCやスマートフォンを持ってきてください。

★の日はパソコン・スマートフォンの活用に関する1時間程度の講義を行います。

『金の化学』

化学 理科教育 木村 憲喜 先生

7月29日 (水)
14時00分～16時00分

金には「錆びない」「展性・延性に富んでいる」「電気をよく流す」など他の金属にない特徴を持っています。また、希少性と特有の美しい輝きのため、古代より人々を魅了しています。最近では、電子回路や触媒、薬剤などにも利用されています。このような金の性質や用途を紹介します。

『学生自主ゼミナール』

化学 理科教育 木村 憲喜 先生

原則として
月1回 水曜日
14時00分～16時00分

※実施日は月毎に掲示をご覧ください。
※実施日は月毎に掲示をご覧ください。

月に1回のペースで行っています。
報告者は、“和歌山学習センター所属の学生”。各回毎に、担当学生がテーマを決めて発表し、互いに学習を深めます。事前の申し込みは不要です。是非お気軽にご参加ください！

『大腸がんについて知ってみよう』

成人看護学 辻 あさみ 先生

8月 2日 (日)
10時30分～12時00分

大腸は小腸の終わりから肛門の間を指し、「結腸」と肛門に近い便をためる「直腸」に分かれます。大腸がんの7割が、直腸周辺にできます。2021年には男性、女性ともに、2番目に患者が多いがんで、早期では、一般に自覚症状がほとんどありません。大腸がんを早期発見するために、大腸がんを予防するための生活についてなど、学習会を機会に考えてみませんか？

『英語でニュースを読む』

英語教育 尾上 利美 先生

9月 8日 (火)
10時00分～11時30分

英語のニュース記事を読むには、①見出しで使われる独特な文法と②記事がどのように構成されているかを知っておく必要があります。この学習会では、最近の英語ニュースを読むことを通して①と②について実践的に学び、英語の語彙力向上も目指します。

■参加者は放送大学の学生とします。

■不測の事態発生時には、実施を延期したり取りやめたりする場合があります。その際には、和歌山学習センターウェブサイトや公式X（旧Twitter）に掲載するとともに、和歌山学習センター内に掲示します。



2026年度連携公開講座のご案内

和歌山県立図書館との連携公開講座を今年度も開催する予定です。

詳細は、「てまり10月号」でお知らせします。

ご家族やご友人お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。



「学生証」について

学生証の交付を所属学習センターで行っています。（大学本部からは送付されません。）

学習センターに来所が難しい場合は郵送による学生証の交付も可能です。

詳細は和歌山学習センターウェブサイト「学生証の交付について」をご確認ください。

◆学生証の交付についての詳細はこちらのQRコードを読み取ってください。



対象者

- ・今学期入学者のうち学生証の受け取りがまだの方
 - ・有効期限切れの学生証をお持ちで新しい学生証の受け取りがまだの方
- ※全科履修生（学部・大学院）の有効期限は2年間です。

学生証の交付に必要なもの

入学許可書(新規入学者)または期限切れの学生証(在籍者)

【注意】出願・科目登録時に写真票を提出していない方は、①システムWAKABAで直接登録、または②顔写真を大学本部学生課出願登録係に郵送してください。②の場合、学生証の発行に2～3週間かかります。

諸証明書・学割証の発行について

諸証明書の発行手続き

各種証明書が必要な場合「諸証明書交付願」を提出してください（発行手数料は1通につき200円）。
なお、証明書の発行に2週間程度かかるものや、事務処理上発行できない期間がありますので、必要な方は早めに提出してください。

【来所されない場合】

下記3点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ①諸証明書交付願（様式：「学生生活の葉（電子版）」巻末、
もしくは「システムWAKABA（キャンパスライフ⇒各種届出・申請様式）」からダウンロード）
- ②返信用封筒《宛名明記》（証明書1～2通：長形3号、3通以上：角型2号）
- ③返信用切手（証明書1～2通：110円、3通以上：180円）



上記書類到着後、手数料のお支払いにつきまして、決済用URLをキャンパスメールへ送信します。
手数料納入が確認できましたら、証明書を送付いたします。

学割証の発行手続き

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、面接授業や単位認定試験、卒業研究、研究指導等のために通学する場合等に発行します。

和歌山学習センターでは、JRと和歌山電鐵のみ適用でき、

『一般普通回数乗車券（JR・和歌山電鐵）』および

『学生割引普通乗車券（片道区間100kmを超える場合・JRのみ）』（2割引）を購入できます。

学割証が必要な方は、事務室備え付けの「学割証発行願」を提出してください。

※ 卒業研究、研究指導およびゼミ出席の場合は、指導教員から指示のあったことを示すもの

（日時や場所がわかる指導教員からのメールの写しなど）も必要です。

学割証の発行手続きで来所されない場合や

各種お手続きについて詳しくはこちらを読み取ってください。



和歌山学習センターからのお知らせ

◆てまり4月号（第111号）でお知らせしたとおり、2026年10月1日（木）から閉所日2日制を導入することになりました。

【閉所日】4月～7月、10月～1月・・・月曜日・火曜日

8月～9月、2月～3月・・・日曜日・月曜日

※上記以外、祝日、国民の休日、年末年始やお盆の期間はこれまでどおり閉所いたします。

また、臨時で閉所する場合がありますので当学習センターのウェブサイトや公式X（エックス）、センター内掲示板等でご確認ください。

◆2026年4月より事務室の窓口と電話の対応を12時から13時まで休止しております。

緊急の場合は対応いたしますので事務室までご相談ください。

◆2027年4月号より機関紙「てまり」の紙媒体での郵送配布は終了する予定です。

今後はWeb電子版のみの発行となります。

なお、紙媒体で必要な方は和歌山学習センターの学生控室に配置する予定です。そちらをお持ち帰りください。また、来所が困難な場合は和歌山学習センターへお問い合わせください。

◆◆◆ ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 ◆◆◆

 **放送大学** 和歌山学習センター

〒641-0051

和歌山県和歌山市西高松1丁目7-20(和歌山大学松下会館内)

Tel. 073-431-0360 Fax. 073-431-0311

E-mail wakayama-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/wakayama/>

X(旧Twitter) https://x.com/wakayama_sc

【開所日】火曜～日曜 10:00～18:00

【閉所日】月曜・祝休日、8/9～17、年末年始



和歌山学習センターへのアクセス、地図等はこちらを読み取ってください。

2026年度第2学期 科目登録・継続入学等のご案内

科目登録申請

次学期に学籍がある方

「科目登録申請」の手続きが必要

2026年度第2学期「科目登録申請要項」：7月中旬発送予定

★「放送授業」「オンライン授業」「面接授業」の科目登録ができる
※8月7日（金）までに届かない場合は大学本部（TEL:043-276-5111）に連絡してください

「システムWAKABA」
（インターネット）で申請

郵送で申請

【科目登録申請期間】
8月15日（土）9時～
8月31日（月）24時

【科目登録申請期間】
8月15日（土）～
8月30日（日）私書箱必着

出願（継続入学）

次学期に学籍がない方へ大学本部より案内が送付される

継続して学習を続けたい方は「出願（継続入学）」の手続きが必要

「システムWAKABA」
（インターネット）で申請

郵送で申請

「教務情報」の「継続入学申請」
から申請

「学生募集要項」に添付されている
「出願票」に必要事項を記入し出願
★「学生募集要項」は学習センター等で
配布しています

【出願期間】
6月10日（水）～
9月9日（水）17時まで

【出願期間】
6月10日（水）～
9月9日（水）私書箱必着

継続入学される方で、面接授業の登録申請を行いたい方は必ず上記の
科目登録申請期間内にシステムWAKABAを通して出願する必要があります。